

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 5 区分
 【発行日】平成 17 年 10 月 13 日 (2005.10.13)

【公開番号】特開 2003-94962 (P2003-94962A)
 【公開日】平成 15 年 4 月 3 日 (2003.4.3)
 【出願番号】特願 2002-165961 (P2002-165961)
 【国際特許分類第 7 版】

B 6 0 K 15/077

F 0 2 M 37/00

F 1 6 L 41/08

【F I】

B 6 0 K 15/02 L

F 0 2 M 37/00 3 0 1 E

F 0 2 M 37/00 3 2 1 A

F 1 6 L 41/08

【手続補正書】
 【提出日】平成 17 年 6 月 2 日 (2005.6.2)
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 6
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【0 0 1 6】

また、前記目的を達成するために、請求項 3 に記載の発明を、前記請求項 1 に記載の発明において、前記コネクタが、通気管の接続用コネクタであることを特徴とする燃料タンク用コネクタとしてある。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 8
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 1 8】

また、前記目的を達成するために、請求項 4 に記載の発明を、前記請求項 1 に記載の発明において、前記コネクタがフューエルカットオフバルブを備えていることを特徴とする燃料タンク用コネクタとしてある。

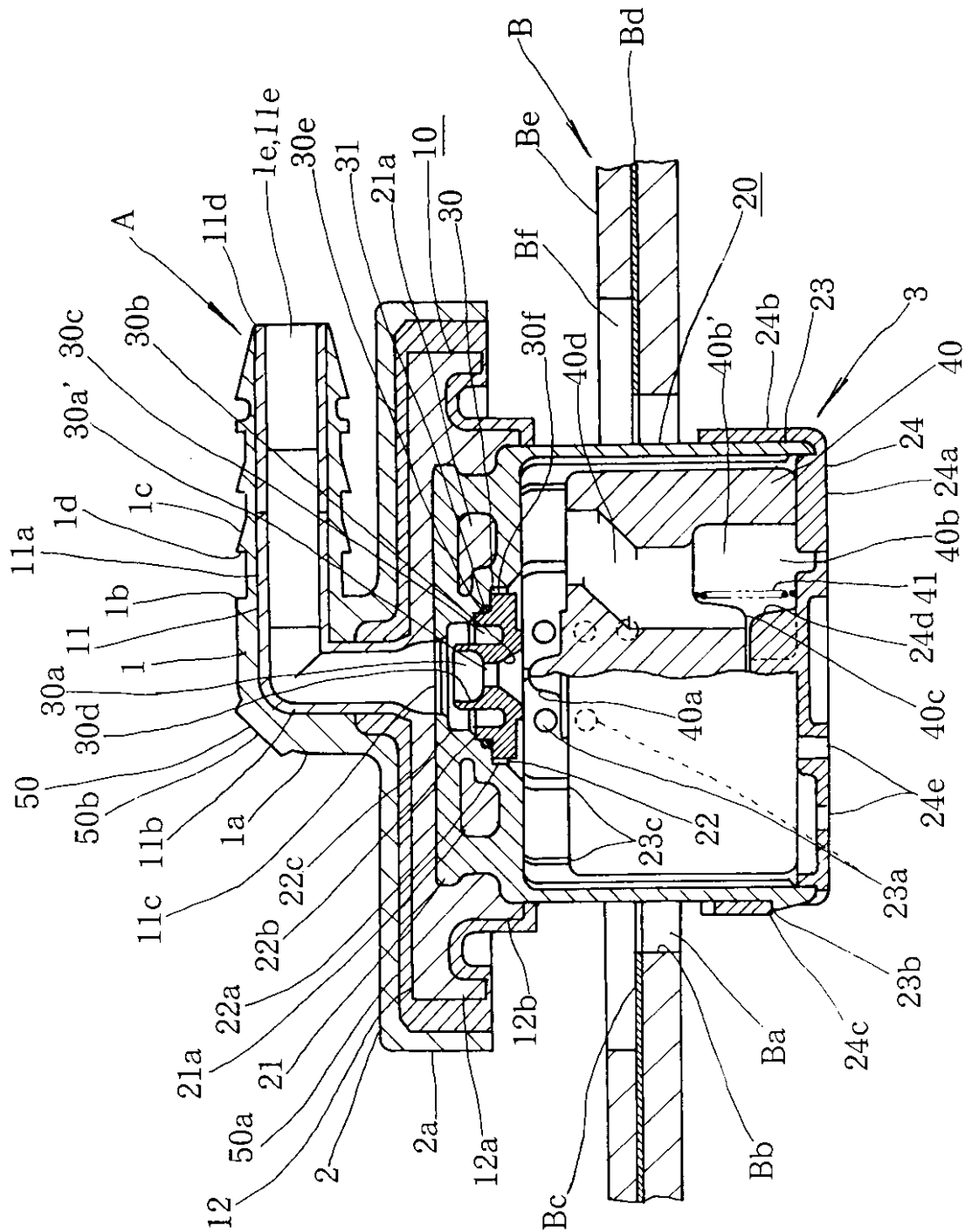
【手続補正 3】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 1 5 8
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 1 5 8】

このように燃料タンク B に備え付けられたコネクタ A に、適宜管 C を接続して用いる。

この管 C の接続される当該コネクタ A における筒状部 1 は、この接続される管 C が容易且つ確実に接続状態を維持され得るように、この図示例にあっては、この筒状部 1 における横向き筒状部 1 b の外周面に、先窄まりの円錐状案内部 1 c と、この円錐状案内部 1 c の頂端から該横向き筒状部 1 b の外周面に到る垂直な段差状面 1 d を備えた隆起部を複数備えた構成としてある。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】図面
 【補正対象項目名】図 1
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【図 1】



【手続補正 5】
 【補正対象書類名】図面
 【補正対象項目名】図 1 3
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【図 13】

